



令和5年度
当初予算の概要
(わかりやすい予算書)

100年のまちづくり
～家族や友人とともに暮らすまち～



はじめに

かけがえのない未来のために、
私たちは今、何をすべきなのか、
何ができるのか。

令和5年度は、「つなぐ・よりそう・いどむ」を基本姿勢として、市民が震災と原発事故からの復興を実感できることを目指す「南相馬市第三次総合計画」がスタートする重要な年です。

令和5年度当初予算は、「100年のまちづくり」の実現に向け、「教育・学び」「こども・子育て」「健康・医療・福祉」「産業・しごとづくり・移住定住」「都市基盤・環境・防災」「地域活動・行財政」、そして「原子力災害復興」の7つの政策の柱に基づき、健全で持続可能な財政基盤をしっかりと維持しながらも、未来に向けた新たな一歩を力強く踏み出すための予算として編成しました。

本市に関わる全ての方々と手を携え、これまで積み上げてきた成果を着実なものとするとともに、山積する課題の解決に向け、果敢にチャレンジしていきます。

本冊子では、予算の概要と政策の柱ごとの主要事業を「わかりやすい予算書」と題して紹介します。



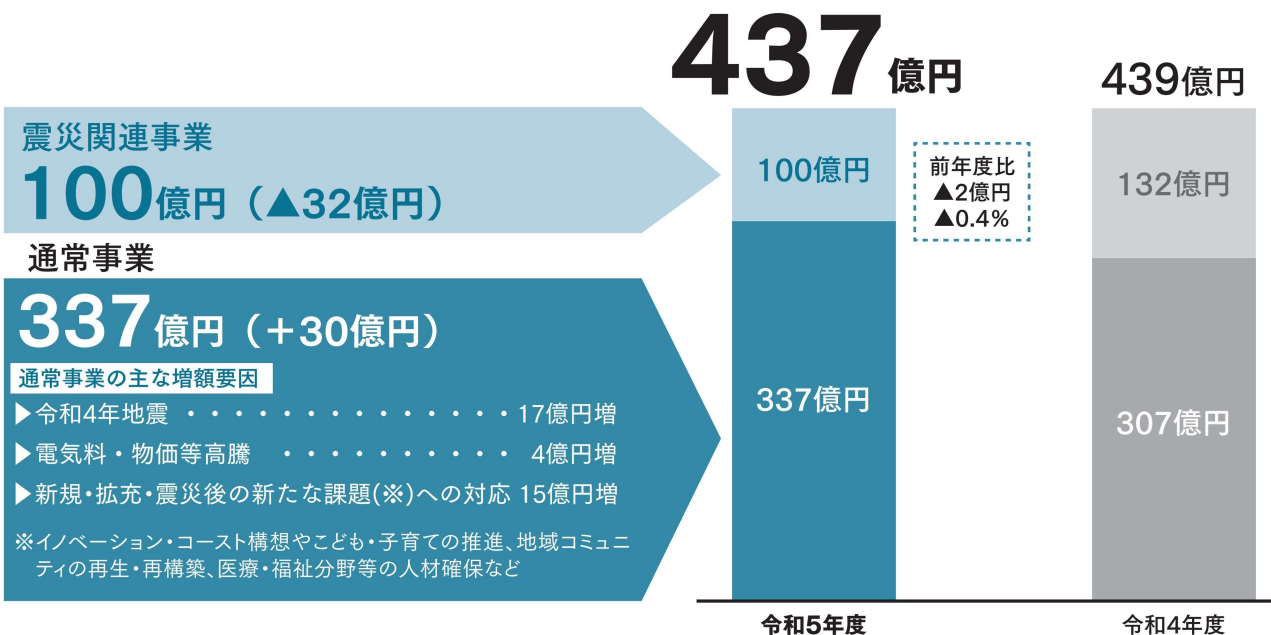
CONTENTS

目 次

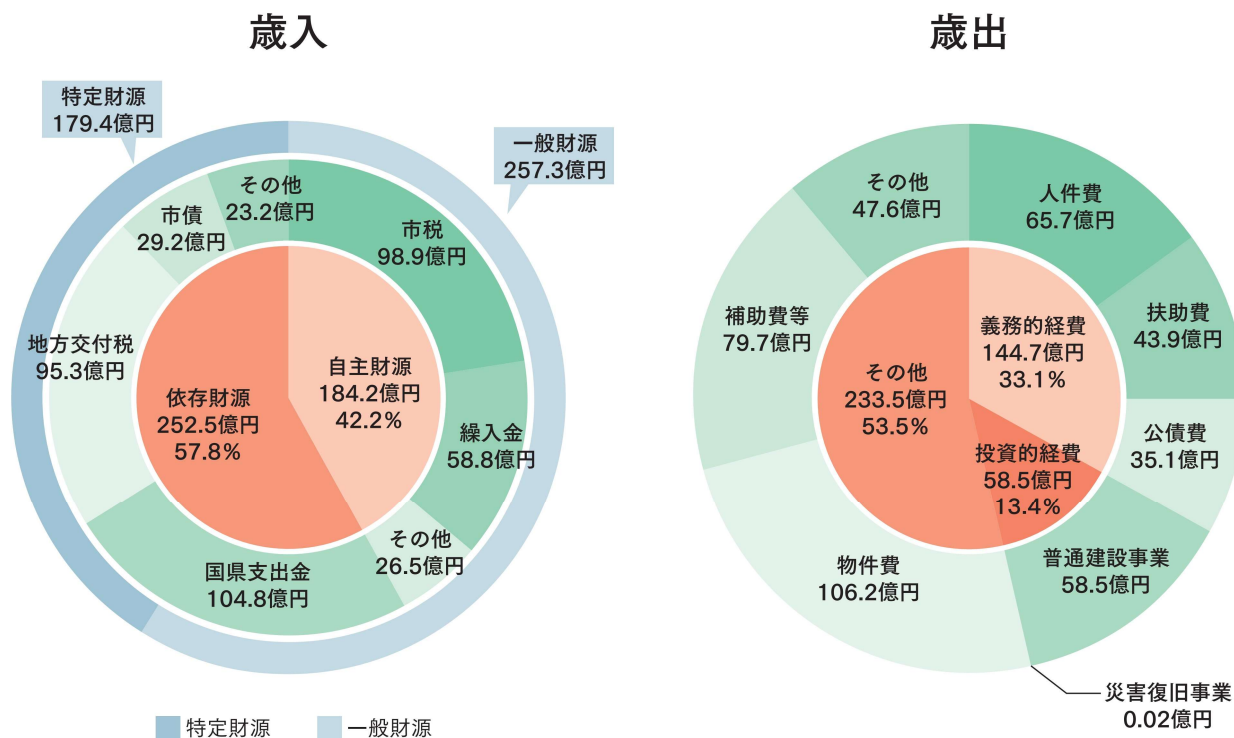
はじめに	2
目 次	3
当初予算の概要	4・5
政策の柱1 教育・学び	6・7
政策の柱2 こども・子育て	8・9
政策の柱3 健康・医療・福祉	10・11
政策の柱4 産業・しごとづくり・移住定住	12・13
政策の柱5 都市基盤・環境・防災	14・15
政策の柱6 地域活動・行財政	16
政策の柱7 原子力災害復興	17
特集1 農業関係の取り組み	18
特集2 新たな産業団地の整備（雇用の場の創出）	19
特集3 こども・子育て支援策	20

令和5年度一般会計当初予算の概要

1) 予算規模



2) 一般会計歳入・歳出予算の状況



※外周の円グラフ「一般財源」と「特定財源」は、規模を表しているものであり、歳入予算科目と一般財源・特定財源の関係は一致していません。

3) 会計別予算額

単位：千円

会 計 名			令和 5 年度	令和 4 年度	増 減	増減率
一般会計			43,669,858	43,863,080	▲ 193,222	▲ 0.4%
特別会計	国民健康保険特別会計		9,189,332	9,298,693	▲ 109,361	▲ 1.2%
	介護保険特別会計		7,238,571	7,305,813	▲ 67,242	▲ 0.9%
	育英資金貸付特別会計		37,893	31,767	6,126	19.3%
	亜炭鉱害復旧施設維持管理事業特別会計		19,059	23,522	▲ 4,463	▲ 19.0%
	工場用地等整備事業特別会計		444,405	900,897	▲ 456,492	▲ 50.7%
	太田財産区特別会計		4,359	1,004	3,355	334.2%
	後期高齢者医療特別会計		919,984	909,301	10,683	1.2%
	企業会計	水道事業会計	収益の支出（※ 1）	1,216,858	1,126,621	90,237
資本の支出（※ 2）			1,893,090	1,774,420	118,670	6.7%
病院事業会計		収益の支出	5,952,185	5,630,420	321,765	5.7%
		資本の支出	1,286,720	864,038	422,682	48.9%
工業用水道事業会計		収益の支出	395,330	378,659	16,671	4.4%
		資本の支出	638,170	558,628	79,542	14.2%
下水道事業会計		収益の支出	1,799,419	1,742,922	56,497	3.2%
		資本の支出	1,910,180	1,354,277	555,903	41.0%
総合計（歳出）			76,615,413	75,764,062	851,351	1.1%

※ 1 …収益的支出
 固定資産の修理・改良にかかる経費のうち、維持管理や原状回復のための支出を収益的支出といたします。
 例）水道管の取り換え費用、施設運営に係る電気代など

※ 2 …資本的支出
 固定資産の修理・改良にかかる経費のうち、価値や耐久性向上のための支出を資本的支出といたします。
 例）水道管の新規敷設工事費、先進的医療機器の購入費など

〔政策の柱〕

1

教育・学び

目指す姿

人は学ぶことで磨かれていきます。誰もが安心して、いつでも、どこでも学べる環境の充実が求められています。

教育水準の向上と、先人から受け継いだ南相馬の自然・歴史・伝統を生かした教育により、こどもの未来を切り拓く力を高めます。

また、人生100年時代において、より心豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたって学ぶことができる環境づくりを推進することにより、誰もが学びたいことを学び続けられるまちを目指します。

再開 中学生海外研修 2,672万円

外国文化に触れる海外研修を通じて、広い視野をもった生徒を育成します。

- 概要** ・ 中学2年生の希望者を対象としたオーストラリア海外研修（4泊6日、20人）およびシンガポール海外研修（3泊5日、20人）の実施

継続 外国語教育推進事業 6,632万円

継続的な教育を通じて、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指します。

- 概要** ・ 中学1年生の全員を対象としたブリティッシュヒルズ（天栄村）国内研修の実施
・ 中学生の全員を対象とした実用英語技能検定受験料の支援
・ 市内小中学校に外国語指導助手10人を配置など

拡充 プログラミング教育推進事業 848万円

小中学校のプログラミング教育を通じて、学習意欲の向上・論理的思考力の育成を図ります。

- 概要** ・ 小型ロボット「あるくメカトロウィーゴ」を活用したプログラミング教育の実施
・ 高等教育機関や専門機関による出前講座
・ プログラミング教育推進検討委員会の設置





拡充 小中学校への各種支援員の配置

3億5,708万円

各種支援員を配置することで教職員の負担を軽減するとともに、きめ細やかな指導体制を構築し、学力向上や児童生徒の状況に合わせた支援の充実を図ります。（令和4年度87人→令和5年度97人）

概要 市内小中学校の支援員を10人増員※

※増員する支援員…学力向上教員(+1)、学校司書(+1)、介助員(+3)、学習支援員(+1)、部活動指導員(+3)、就学指導アドバイザー (+1)

新規 奥州相馬氏700年記念事業 819万円

鎌倉時代から明治維新まで、相双地域を治め続けた相馬氏が、この地に移住してから700年が経ちました。このことをきっかけに市民が故郷の歴史をさらに深く知るための市民向けバスツアーなど通じて、郷土への愛着や誇りを育みます。

概要

- ・市民向けバスツアーの開催
- ・記念シンポジウムの開催
- ・観光プロモーションの実施
(令和4年度3月補正予算計上)

こども・子育て



無料1 幼保から中学までの給食費無料

継続 幼保小中給食費無料事業

2億1,027万円

給食費を無料にすることで、子育て世代の経済的負担の軽減、子どもたちの健やかな成長を推進します。

概要

- ・小中学校児童の給食費全額補助
- ・私立幼稚園児の給食費助成
- ・民間保育園、認定こども園の3歳～5歳児の給食用食材費補助
- ・公立幼稚園、保育園、認定こども園園児は給食費無料

無料2 幼稚園、保育園等の保育料無料

継続 幼保保育料無料事業

4,128万円

保育料を無料にすることで、子育て世代の経済的負担の軽減、子育て環境の充実に図ります。

概要

- ・認可外保育所・地域型保育事業所・私立認定こども園の利用者負担額を支援
- ・幼稚園、保育園、公立認定こども園の保育料無料



目指す姿

こどもは地域の宝、未来をつくる希望です。すべてのこどもが健やかに成長し、すべての親が安心してこどもを育てることができるよう、地域で子育てを応援することが求められています。

地域が一丸となって、すべてのこどもの権利と暮らしを守り、こどもが笑顔で暮らせるまちを目指します。また、出会いから結婚支援や子育て支援、若い世代の移住定住など、全市を挙げて少子化対策などに取り組み、安心してこどもを産み育て、こどもの成長に喜びを感じ、充実した子育てができるまちを目指します。

無料3 18歳までの医療費無料

継続 乳幼児子ども医療費助成事業

1億4,233万円

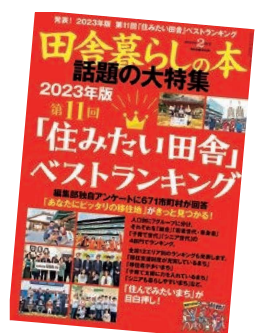
医療費の自己負担額を支援することで、子育て世代の経済的負担の軽減、子育て環境の充実を図ります。

- 概要**
- ・市内に住所を有する18歳までの子どもを対象として、保険診療および食事療養費の自己負担額を支援

今年も「住みたい田舎ベストランキング」ランクイン！

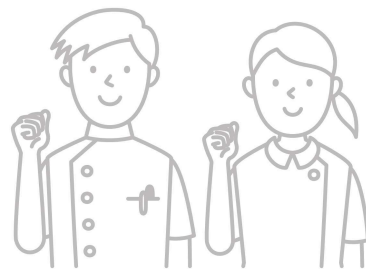
田舎暮らしの本（宝島社）では、移住支援策・医療・子育て・自然環境などについて独自アンケートを行い、ランキング形式で発表しています。

本市は、3つの無料事業などの取り組みが評価され、2022年に初ランクイン。2023年は子育て世代部門の東北エリア第2位（県内1位）に選ばれました。



■宝島社「田舎暮らしの本」2月号
「2023年版住みたい田舎ベストランキング」

健康・医療・福祉



目指す姿

市民一人ひとりが地域社会で活躍し、お互いに支え合うことで、誰もが住み慣れた地域で、心身ともに元気で健やかな暮らしを続けられることが求められています。

「100年のまちづくり～家族や友人とともに暮らすまち～」を進めるうえで、あらゆる政策の基本となるのが、こどもから高齢者まであらゆる世代が健康であることです。

また、急速な高齢化が進行する中で、高齢者や障がい者等が安心して暮らし続けられるには、地域の支え合いや医療、福祉の充実が大切です。

このため、市民の健康づくりの推進、医療・福祉体制の整備や連携の強化などにより、誰もが健康で安心して暮らせるまちを目指します。

継続 サンサンチャレンジ — 2,547万円

メタボリックシンドローム該当者や予備群の方の減量を促進し、健康寿命を延ばします。

概要 体重を朝と夜2回記録し、3カ月で3kg減量する「サンサンチャレンジ」の実施

開催予定 第1回：9月～11月
第2回：3月～5月

サンサンチャレンジアンバサダー ▶
ぺんぎんナッツ





継続 市民プール更新事業 11億7,082万円

老朽化した市内2つのプールを集約し、市民の健康増進と利便性の向上を図ります。

- 概要**
- ・屋内型温水プール（25m×8レーン、幼児プール）の整備
 - ・災害時にプールの水を生活用水として利用できる浄水設備の設置



拡充 寄附講座設置事業 9,350万円

医療系大学に研究講座を開設する支援を行い、研究講座から市立総合病院へ医師の派遣を受けるなど医療支援の充実を図ります。

- 概要**
- ・人工透析など生活習慣病診療、循環器診療に係る寄附講座開設（福島県立医科大学）
 - ・消化器系の疾病に対する高度医療に係る寄附講座開設（広島大学病院）

新規 高齢者補聴器購入費助成事業 820万円

補聴器購入に係る経費を支援することにより、高齢者の社会参加を促し、認知症予防に繋がります。

- 概要**
- 医師に難聴の程度区分が「中等度」、「やや高度」と診断された65歳以上の方へ助成します。
- ・非課税世帯 購入額の2/3 上限10万円
 - ・課税世帯 購入額の1/2 上限7万5千円

産業・しごとづくり・移住定住



目指す姿

産業・しごとづくりは、南相馬の活力の源泉です。まちに元気と賑わいを生み出すためには、より一層の地域産業の振興、移住定住の推進が求められています。

本市は、新たなチャレンジを応援するまちです。地元企業の発展を支えるとともに、福島イノベーション・コースト構想の6分野などを通じて、あらゆる世代や国籍などを超えて、就業機会の創出を図ります。

また、山・川・海の豊かな自然や人馬が共生する文化など、本市の魅力ある地域資源を最大限生かした、観光や移住定住施策を推進するなど、訪れたい・住みたいまちを目指します。

拡充 基盤技術産業高度化支援事業補助金

8,100万円

新製品の研究費等を支援することにより、製造業やイノベ重点分野に関わる事業者の技術力の高度化を図ります。

概要

- ・ 研究開発費の補助
(補助率1/2 上限250万円)
- ・ 福島県地域復興実用化開発等促進事業費補助金で採択された事業者
(補助率1/2 上限500万円) および
そのうち市が特に優良と認める事業者
(上限3者程度 補助率2/3 上限1,000万円)



新規 農業研修機関の開設準備

2,592万円

農業法人等への人材供給を円滑化するとともに、農業者の横のつながりを強化する等のため、農業研修機関の令和6年春の開設を目指します。

概要

- ・ カリキュラム作成、PR、ほ場準備等開設準備
- ・ 校舎施設改修調査・設計

拡 充 スマート農業技術導入促進 3,854万円

農業用機械の自動操舵システムや農業用ドローン等の導入、ドローン操縦ライセンス取得を支援することで、スマート農業の普及を促進します。

概要

- ・自動操舵システム導入補助
(補助率2/3以内 150万円以内)
- ・農業用ドローン等導入補助
(補助率1/2以内 100万円以内)
- ・農業用ドローン操縦ライセンス取得補助
(補助率1/2以内 10万円以内)



新 規 中小事業者チャレンジ応援 事業補助金 1,612万円

新たな事業展開を計画し、事業の継続や発展に積極的に取り組む中小事業者を支援し、経営安定を図ります。

概要

- ・事業拡大や新業種参入に係る店舗等の改修や設備導入の経費を支援
(補助率2/3以内 上限300万円)
- ・新商品・新サービス開発に係る市場調査や設備導入の経費を支援
(補助率1/2以内 上限100万円)
- ・販路開拓に係るWebメディア等を活用した情報発信やSNS広告掲載などの経費を支援
(補助率1/2以内 上限50万円)

新 規 南相馬鹿島サービスエリア周辺 開発検討事業 1,444万円

年間来場者数が100万人以上を誇る常磐自動車道南相馬鹿島サービスエリア（「セデッテかしま」含む）のポテンシャルを最大限に生かした地域活性化を目指します。

概要

令和4年度に実施したプロジェクト研究やサウンディング型市場調査の結果を踏まえた南相馬鹿島サービスエリアの周辺エリア開発の検討

継 続 移住プロモーション推進事業

4,443万円

本市における仕事や暮らしなどの情報を発信し、就業や移住の促進を目指します。

概要

- ・24時間相談システム運用、情報発信
- ・UIターンセミナーの開催(6回)
- ・南相馬サポーター向け会報誌発行(2回)
- ・魅力体験ツアー等の開催(3回)
- ・首都圏等大学への移住プロモーション活動(5回)



都市基盤・環境・防災



目指す姿

すべての人に便利でやさしく、自然と調和しながら、ゆとりとやすらぎをもって、快適に暮らせるまち、また、あらゆる災害に迅速に対応する安全で安心なまちが求められています。

道路網・上下水道の整備や住環境の整備、公共交通の確保、ごみの減量と資源化等を推進し、住みやすいまちを目指します。

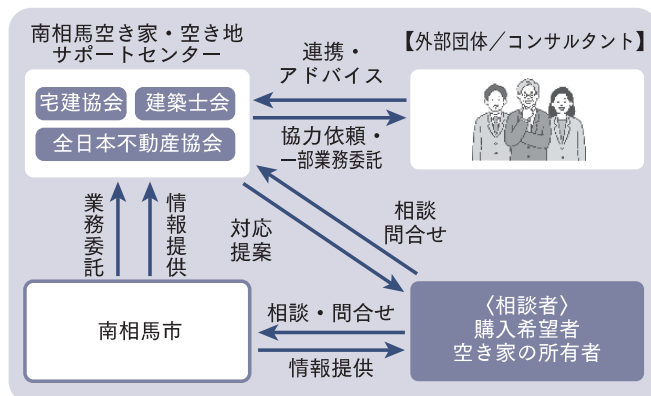
また、太陽光発電設備の適切な管理による地域と共生した再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの推進などによる脱炭素社会の実現、交通安全・防犯の推進など、環境に配慮し、快適に暮らせるまちを目指します。

さらに、災害が激甚化・頻発化する中で、想定を超える災害に対し、しなやかで強靱な地域社会の構築を目指します。

継続 空き家等対策の推進 — 5,209万円

空き家に関する相談や解決へ向けた調査・提案・サポート業務を実施し、市内の空き家の適切な管理と利活用の促進を図ります。

概要 空き家相談窓口「ミライエ」の運営



拡充 定額タクシー「みなタク」の拡充

5,193万円

「みなタク」をより利用しやすい制度へ見直し、交通弱者の利便性向上を図ります。

- 概要**
- ・ 高齢者（75歳以上）や障がいのある人等の利用料金を500円に引き下げ、病院限定で区を跨ぐ運行を2,000円で実施
 - ・ 乗降場所を拡大（区内中心部地域と区域外の生涯学習センターやスーパー、医療機関）



継続 きょうりゅう 橋梁メンテナンス — 3億200万円

老朽化した市道橋の計画的な維持補修を進め、歩行者及び車両の安全な通行を確保します。

概要

- ・ 橋梁修繕（下川原橋、小屋木橋、藤木橋、大高橋）
- ・ 橋梁修繕測量設計（落合橋、道場橋）
- ・ JR東日本受託橋梁修繕工事の負担金（千倉跨線人道橋、東町桜井町跨線、南原町跨線橋）
- ・ JR東日本受託橋梁点検の負担金（原ノ町駅跨線橋外1橋）

拡充 防災情報発信強化 — 6億6,803万円

防災行政無線の機能を強化し、災害時における住民への情報伝達手段の充実を図ります。

概要

- ・ 広範囲に音声届けられる新デジタル方式に対応した戸別受信機などに更新
- ・ 新デジタル方式の電波に変更し、通信可能エリアを拡大

地域活動・行財政



目指す姿

将来の予測が困難な時代において、誰もがまちづくりの主役になれること、あらゆる課題に柔軟に対応し、持続可能な行財政運営が求められています。このため、地域コミュニティの再生・再構築に加え、まちづくりの担い手として、あらゆる場面で市民一人ひとりが成長・活躍できるよう支援します。また、突発的な事象や不測の事態に対し、機動的に対応します。さらに、より効率的かつ効果的な行財政運営を推進することで、健全な行財政運営を図り、将来へ向けて持続可能なまちを目指します。

継続 自治体デジタル・トランスフォーメーションの推進 3,026万円

デジタル技術・AI等の活用による市民の利便性向上や、市役所内部の業務効率化を推進することにより、行政サービスの向上を図ります。

- 概要**
- ・行政手続きのオンライン化
 - ・窓口でのキャッシュレス決済実証実験
 - ・保育所等の職場環境の改善のためシステム導入の補助



継続 まちづくり委員会の支援 1,000万円

地域課題の解決や地域資源を活かした地域づくりを住民が自ら計画・実践するまちづくり委員会に交付金を交付し、地域住民主体のまちづくりを推進します。

- 概要**
- ・対象となるまちづくり委員会10地区に1地区当たり上限100万円までの交付金を支援

継続 新庁舎の建設 3,660万円

新庁舎に求められるニーズや機能を実現できるように、準備を着実に進め、新庁舎完成を目指します。

- 概要**
- ・基本設計の実施に伴う工程管理
 - ・建設に向けた技術的課題の検証など事業環境の整理

参考

新規 各種証明書コンビニ交付手数料

市内のマイナンバーカード申請率が70%程度まで増加していることから、カード保有者がメリットを感じられるようにコンビニエンスストアで証明書を交付する際の手数料を値下げするなど、利便性向上を図ります。

- 概要**
- ・コンビニで発行する住民票や印鑑証明書のほか、戸籍や所得などの証明書（5種類）の発行手数料を100円にします。

原子力災害復興



目指す姿

震災と原発事故から12年目を迎えた中で、原子力災害からの復興・再生を一日でも早く成し遂げることが求められています。国の「第2期復興・創生期間（原子力災害被災地域）」（令和12年度）に合わせ、本市の更なる復興・再生に向けて、国・県等とも十分に連携を図りながら、福島イノベーション・コースト構想を推進します。

また、震災と原発事故により拍車がかかった子どもや若者を中心とした人口減少に加え、出生数の減少傾向を踏まえ、今後、更なる少子化対策や子育て支援、移住定住の促進、地域コミュニティの再生・再構築、不足する医療・福祉分野等の人材確保に取り組めます。

さらに、水産業をはじめ農林業や観光業・商工業・サービス業に携わる事業者等が安心して事業継続できるよう風評払拭に向けた取組を推進するとともに、廃炉作業を安全かつ着実に進めるよう、引き続き、国や東京電力ホールディングス(株)に求めているなど、原子力災害からの復興・再生を目指します。

継続 おだかぐらしファンづくり

7,603万円

小高区を中心とする情報発信や移住体験ツアーを通じて、地域に対する愛着形成を図りながら、移住定住を促進します。

- 概要**
- ・ SNSなどインターネットを活用した情報発信
 - ・ 自由にコースを決められる移住体験ツアー
 - ・ 地域の情報や移住者の取り組みなどを掲載した「おだかぐらし通信」発行



拡充 小高区魅力ある教育推進 1,075万円

認定こども園から小中学校まで一貫した英語教育を展開することにより、魅力ある教育環境の整備を図ります。

概要

- ・ おだか認定こども園：えいご発音あそび、フォニックス学習
- ・ 小高小学校：フォニックス学習、英検Jr受験料支援（5,6年生）
- ・ 小高中学校：体験型英語学習施設研修（3年生）



◀ 外国語教育推進アドバイザー
J PREP 代表 齊藤 淳 氏

継続 被災地域の農業復興支援 4億2,625万円

農業用機械や施設を無償貸与し、営農再開を支援します。

- 概要** 機械71件、格納庫3件の貸出

継続 旧避難指示区域内での店舗営業支援

4,016万円

日常生活に必要となるサービスを提供する事業者等を支援し、復興を推進します。

- 概要** 対象店舗等の運営経費の一部を支援（補助率1/2以内 限度額150万円（上下水道料は100万円））。店舗等の延床面積1平方メートルあたり2万円が上限。

特集1 農業関係の取り組み

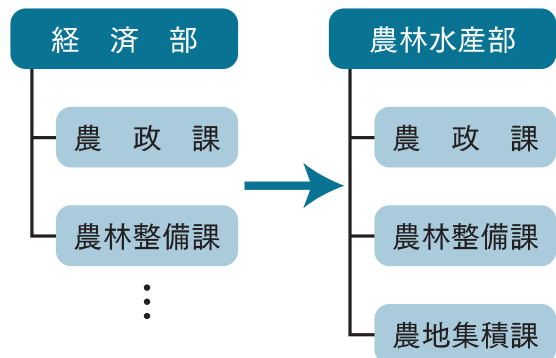
これからの南相馬市の農業施策

東日本大震災から12年が経過し、農業従事者の減少・高齢化が顕著となった本市農業は「新たなステージ」に入りつつあります。農業の生産基盤である農地では、多くの大規模ほ場整備事業を同時並行で進め、農業法人などの担い手へ集約を行っています。

同時に、市外からの移住・新規就農者も増加傾向であることから、「多様な担い手」が農業の生産活動に専念し、利益を上げられるよう生産から販売までのあらゆる面で「環境整備」に力を入れます。

取り組み1

令和5年度から新たに「農林水産部」を設置。多様化する現場課題に対応するため、意思決定の迅速化を図るとともに、これまでの農政課・農林整備課に加え、ほ場整備やそれに伴う地域の合意形成を推進する「農地集積課」を配置し、体制強化を図ります。



取り組み2

多様な担い手が本市で活躍できる環境を整備するとともに、福島国際研究教育機構（F-REI）や福島ロボットテストフィールド、農業ベンチャー企業との連携など、技術変化の潮流を的確にとらえ、本市農業の活性化につなげていきます。



特集2 新たな産業団地の整備（雇用の場の創出）

市内3つの工業団地（信田沢・下太田・復興工業団地）の空き区画面数は残り僅かとなっています。現在も本市への旺盛な産業用地需要が寄せられ、立地企業への国や県の手厚い支援制度が当面、維持される見通しであることから、本市への産業用地の需要は、引き続き堅調に推移することが見込まれます。

旺盛な産業用地需要に応えつつ、企業誘致を通じた新たな雇用の場を確保するため、既設の下太田工業団地の拡張や飯崎産業団地・小高復興産業団地（フロンティアパーク）の整備を進めます。

1) 今後の整備スケジュール

工業・産業団地名	敷地面積	スケジュール				
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
飯崎産業団地	3.3ha	設計 ・金房小解体 ・団地進入道路	工事 ・金房小解体 ・団地進入道路	供用開始		
下太田工業団地	15.3ha	設計 ・区画拡張など	工事(予定) ・区画拡張など	供用開始		
フロンティアパーク	14ha	設計 ・区画造成	工事(予定) ・区画造成			供用開始

2) 各産業団地の整備予定

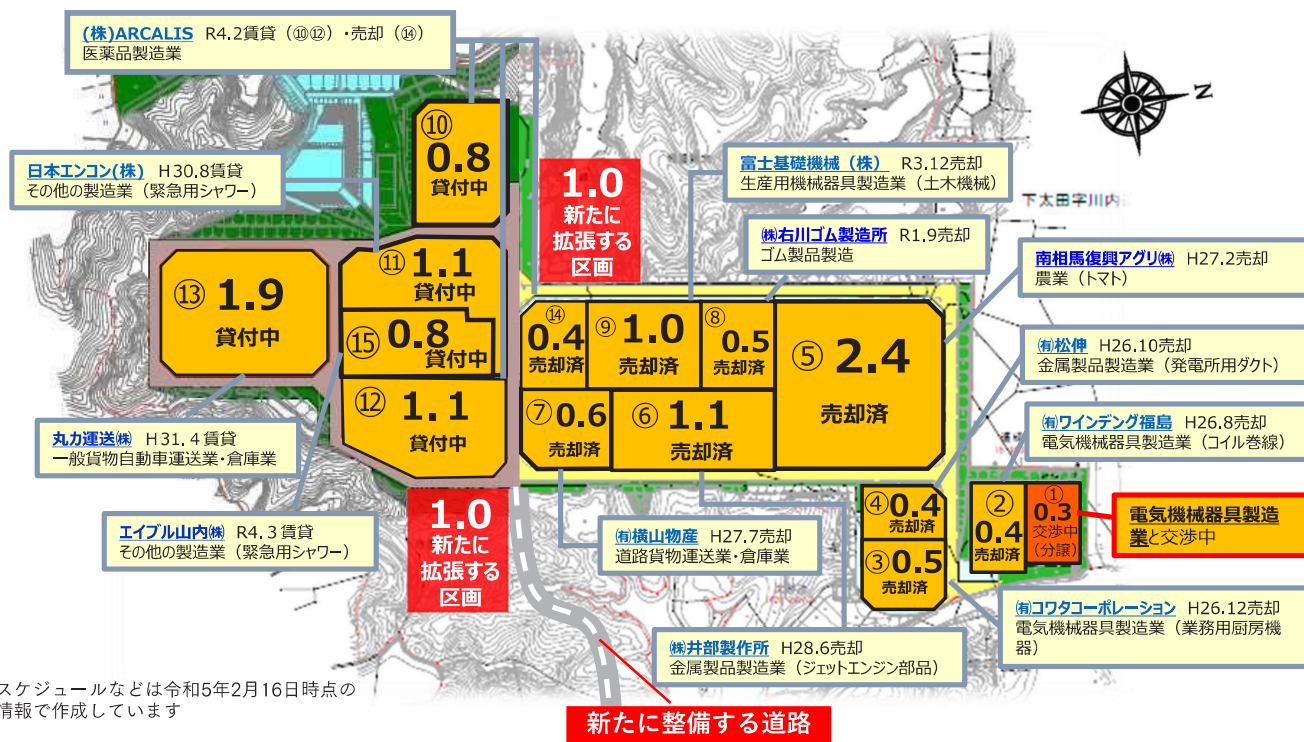
▼飯崎産業団地



▼フロンティアパーク



▼下太田工業団地（令和5年2月1日現在）



※スケジュールなどは令和5年2月16日時点の情報で作成しています

南相馬市は こども・子育てを 本気で応援!



その理由は

1 幼保から中学までの給食費無料!

2 幼稚園、保育園等の保育料無料!

まだまだ
あるよ!

3 18歳までの医療費無料!

南相馬市なら3つの無料以外にもこども・子育て支援が充実!

